



いのち
生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり



10月9日、掛合町ふるさとまつりでのおかで駅伝

2011

11

No.84

CONTENTS

- 2 平成22年度決算報告
- 5 雲南市の給与・定員管理等(概要版)
- 6 第三セクター等の業務内容と経営状況
- 7 行政組織見直し、新庁舎建設の検討状況
- 8 雲南ニュース
- 10 ふるさとウォッチング
- 12 雲南病院だより
- 14 公共交通・市民バスの見直し シリーズ②
- 16 こんにちは、保健師です。ほか
- 18 わが家のホープ
- 19 市役所からのお知らせ ほか
- 27 ヤマトノオロチ伝説の舞台・雲南を巡る シリーズ⑧
- 28 11月のイベント

市

Public Relations

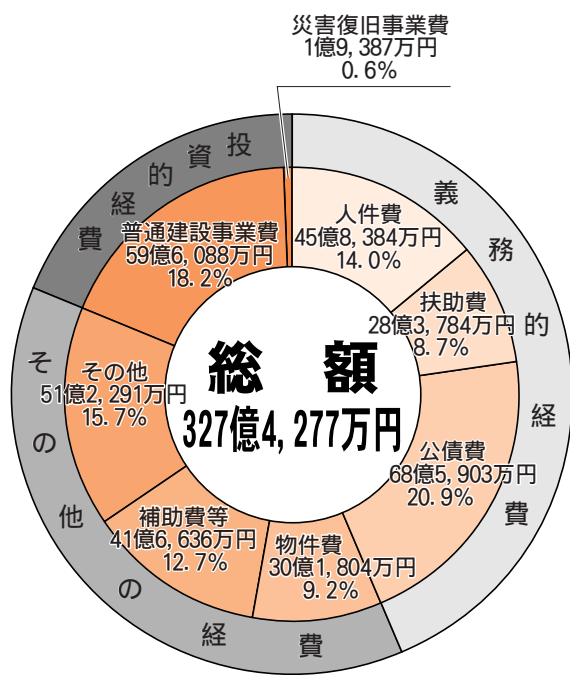
報

うんなん

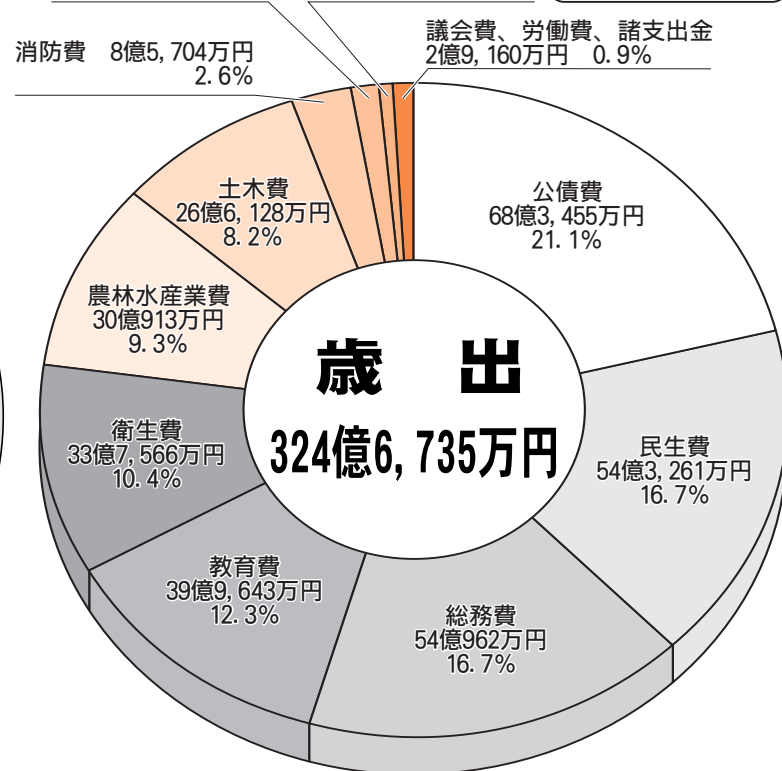
「平和を」の都市宣言のまち 雲南市

一般会計

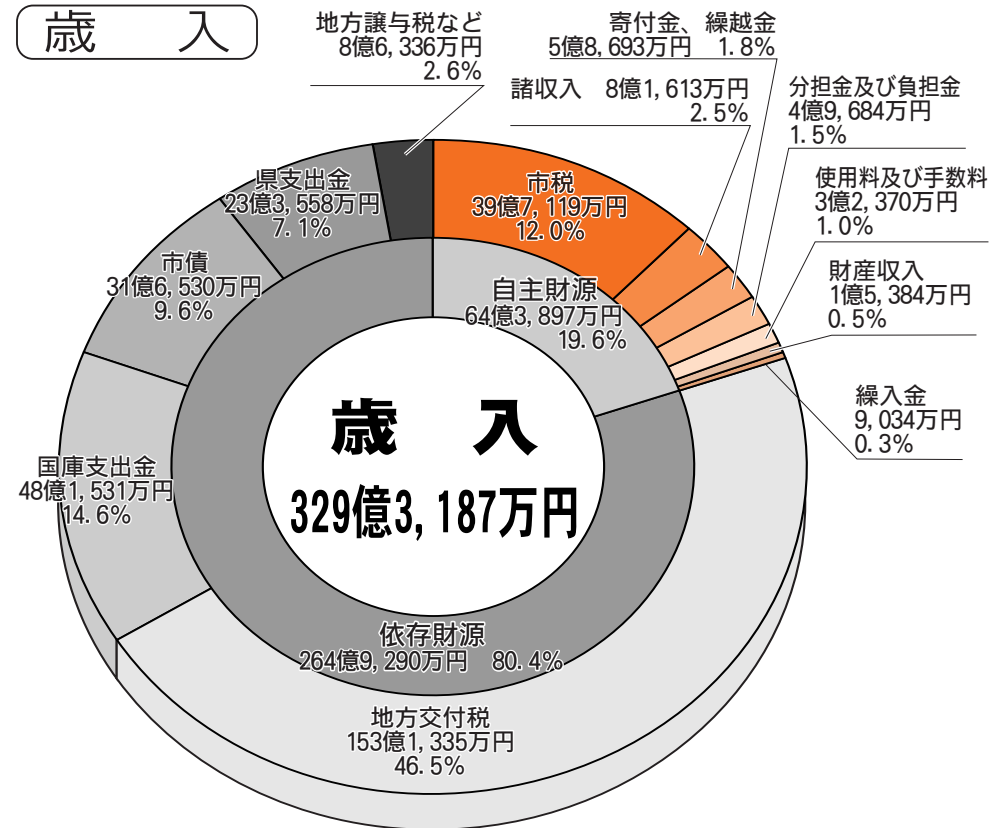
普通会計 性質別歳出決算額



歳出



歳入



平成22年度の決算が9月議会で認定されましたので、お知らせします。

決算報告

平成22年度

決算についてのお問い合わせは
財政課 ☎0854-40-1023

- ☆雲南市・飯南町事務組合負担金 (CATV事業)1億4,787万円
- ☆移動通信不感地域解消事業5億4,088万円
- ☆人間交流促進施設整備事業1億 449万円
- ☆地域づくり活動等交付金事業1億3,273万円
- ☆公共交通対策事業1億9,792万円
- ☆災害時要援護者避難支援事業1,024万円
- ☆介護保険事業 (負担金)6億5,079万円
- ☆雲南病院負担金7億 491万円
- ☆地域健康医療ネットワーク構築事業4,308万円
- ☆雲南市・飯南町事務組合負担金 (清掃事業・火葬場事業)7億9,061万円
- ☆乾燥調製貯蔵施設整備事業補助金7億9,529万円
- ☆林道開設事業7,308万円
- ☆道路維持・新設改良事業6億3,247万円
- ☆橋梁補修事業1億8,112万円
- ☆住宅リフォーム事業補助金5,690万円
- ☆小学校施設耐震化事業2億1,926万円
- ☆大東小学校建設事業2億8,692万円
- ☆小・中学校太陽光発電施設設置事業4億 46万円
- ☆三刀屋中学校建設事業9億4,904万円
- ☆ダム湖周辺整備事業3億6,938万円
- ☆災害復旧事業1億9,387万円 など
- ☆は経済対策事業として実施した事業。

財政指標

項目	数値	説明	
財政力指数	0.256 (0.271)	財政基盤の強さを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いこととなります。	
経常収支比率	86.3% (91.4%)	毎年経常的に支払わなければならない経費の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低いほど財政運営に弾力性があり、高いほど財政運営が硬直化している状況を表しています。	
地方債現在高比率	227.6% (251.4%)	財政規模に対する地方債 (長期に渡り返済する借金) の残高を表したもので、低いほど財政運営が安定しています。	
健全化判断比率	実質赤字比率	該当なし (該当なし)	一般会計等 (普通会計) を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、12.52%以上で財政健全化団体に、20%以上で財政再生団体となります。
	連結実質赤字比率	該当なし (該当なし)	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、17.52%以上で財政健全化団体に、35%以上で財政再生団体となります。
健全化判断比率	実質公債費比率	19.5% (21.8%)	公債費の水準を測る指標です。一般会計等 (普通会計) が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、従来から用いられてきた「起債制限比率」を見直し、実態をより正確に把握するため、公営企業会計に対する繰出金のうち元利償還金相当分などが要素に加えられています。この比率が25%以上になると財政健全化団体に、35%以上で財政再生団体となります。
	将来負担比率	163.6% (198.8%)	地方債の残高をはじめ一般会計等 (普通会計) が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。350%以上で財政健全化団体となります。
資金不足比率	該当なし (該当なし)	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各公営企業会計毎に算定することとされており、20%以上で経営健全化団体となり、財政健全化団体と同じように、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。	

特別会計

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
国民健康保険事業 (事業勘定)	国民健康保険事業 (事業勘定)	42億3,044万円	41億8,943万円	4,101万円
	国民健康保険事業 (直営診療施設勘定)	1億6,064万円	1億5,801万円	263万円
老人保健		164万円	19万円	145万円
後期高齢者医療事業		9億5,463万円	9億5,431万円	32万円
農業労働災害共済事業		518万円	517万円	1万円
簡易水道事業		7億5,592万円	7億5,412万円	180万円
生活排水処理事業		25億 371万円	25億 63万円	308万円
財産区		41万円	41万円	0万円
土地区画整理事業		9,654万円	6,555万円	3,099万円
ダム対策事業		4億2,767万円	4億1,898万円	869万円
清嵐荘事業		2,981万円	2,972万円	9万円

◎は一般会計と合わせて普通会計に入る特別会計。

監査委員の審査意見書から

市税の収入率は97.91%で山陰12市の中で最も高く、横断的な滞納整理体制の強化が図られ、それによる成果が着実に現れてきている。今後も財源の確保と負担の公平を期するため、資力がありながら滞納する納入義務者に対する厳格な対応など、未収金の解消に向けて、引き続き関係部局間の連携を図り、総力を挙げて取り組まれることを望む。

財政健全化法に基づく財政指標である実質公債費比率、将来負担比率については、公債費負担適正化計画に基づく市債発行の抑制及び繰上償還の実施により、昨年度に引き続き数値の改善が見られたところであるが、今後もさらなる比率の低減に努め、財政の弾力化を図っていく必要がある。

合併直後の「財政非常事態宣言」以降、平成24年度の収支均衡の実現をめざした財政健全化への取り組みが毎年度継続して進められており、平成22年度においては人件費の抑制、組織機構の見直し、公共施設の廃止などが実施されている。また、雲南市総合計画は平成23年度から平成26年度の後期基本計画が策定されたところであり、これまでの成果を十分に検証し、実効性の確保に向けて不断の取り組みを進められたい。

今後、合併特例期間終了に伴う普通交付税の一本算定化、東日本大震災による市財政への影響が懸念される中で、少子・高齢化などの社会環境の変化によって発生する多くの新たな行政課題への対応が求められている。一方、緊急経済・雇用対策による地域活性化交付金を活用したインフラ整備は、雲南市の経済に多大な効果をもたらしたが、今後も引き続き社会情勢を的確に把握し、必要な対策を適宜、適切に講じることを望む。

平成22年度決算報告

(公営企業事業)

水道局
0054-42-10000

雲南市議会9月議会で認定された平成22年度公営企業会計(水道事業会計及び工業用水道事業会計) 決算をお知らせします。

水道事業

収益的収入(料金収入等)及び支出(維持管理費等)

平成22年度3月末現在の水道使用戸数は10,088戸、年度末の総有収水量(料金収入のもとになった給水量)は313万8,764m³でした。

総収益は7億6,493万円、総費用は7億2,470万円で純利益は4,023万円となりました。ちなみに水道料金収入6億5,229万円を総有収水量で割った1m³当たりの供給単価は207円82銭となりました。

一方、水道を供給するためにかかる1m³当たりの給水原価は228円60銭でした。給水原価から供給単価を差し引くと20円78銭マイナスとなり原価を割って供給することになります。市からの営業補助により解消しています。

資本的支出(建設改良工事等)

平成22年度の資本的支出総額は7億2,391万円でした。このうち建設改良費は5億8,959万円で、主

な事業としては三代浄水場整備事業、国道54号配水管整備工事、下熊谷第2水源地下水新設工事などを行いました。

また企業債償還金は1億3,432万円でした。

工業用水道事業

収益的収入(料金収入等)及び支出(維持管理費等)

平成22年度3月末現在の工業用水道利用者は島根三洋電機株式会社とホシザキ電機株式会社との2事業所で、年度末の総給水量は118万8,823m³でした。

総収益は8,992万円、総費用は7,977万円で、1,015万円の純利益となりました。

資本的支出(建設改良工事等)

平成22年度の資本的支出総額は2,521万円で、全額企業債償還金でした。

雲南市の給与・定員管理等 [概要版]

●人件費の状況(平成22年度普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (平成22年度末)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)
22年度	42,957人	327億4,277万円	2億5,643万円	45億8,384万円	14.0%

●職員の給与の状況(平成23年度普通会計予算)

区分	職員数 (A)	給与				1人当たり 給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計 (B)	
23年度	506人	19億5,022万円	3億1,499万円	7億1,517万円	29億8,038万円	589万円

(注)「職員手当」とは、扶養手当、通勤手当、時間外手当、管理職手当などの諸手当で退職手当は含まない。

●職員の平均給料月額及び平均年齢(平成23年4月1日現在)

職種	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	(322,735円) 331,400円	41歳1月

(注) 1 平成23年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。
2 ()内は「給与の特例に関する条例」により2~3%減額支給後の額です。

●職員手当の状況

①期末勤勉手当(平成23年4月1日現在)

区分	雲南市		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.2月	0.675月	1.25月	0.7月
12月期	1.35月	0.675月	1.35月	0.65月
計	2.55月	1.35月	2.6月	1.35月

職制上の段階などによる加算措置
役職加算 5~15%
管理職加算 10~25%

③扶養手当(平成23年4月1日現在)

区分	雲南市	国
配偶者	13,000円	13,000円
子等のうち2人目まで(1人につき)	6,500円	6,500円
扶養親族でない配偶者があ る職員(そのうち1人)	6,500円	6,500円
配偶者のない職員 (そのうち1人)	11,000円	11,000円
子等のうち3人目以降(1人につき)	6,500円	6,500円
満16歳の年度始めから満22歳の年度 までの子に対する加算額(1人につき)	5,000円	5,000円

●特別職等の報酬等の状況

区分	給料月額等	区分	期末手当支給割合	
給料	市長 (712,000円) 890,000円	市長	平成22年度 支給割合	
	副市長 (612,850円) 721,000円			副市長
	教育長 (555,930円) 639,000円			教育長
報酬	議長 413,000円	議長	6月期 1.5月分	
	副議長 354,000円		12月期 1.5月分	
	議員 328,000円		計 3月分	

(注) ()内は条例により市長、副市長、教育長それぞれ20%、15%、13%減額後の額である。

●職員の初任給の状況(平成23年4月1日現在)

区分	雲南市	国
一般行政職	大学卒 (168,756円) 172,200円	172,200円
	高校卒 (137,298円) 140,100円	140,100円

②退職手当(平成23年4月1日現在)

区分	雲南市		国	
	自己都合	定年・勲奨	自己都合	定年・勲奨
勤続20年	23.50月	30.55月	23.50月	30.55月
勤続25年	33.50月	41.34月	33.50月	41.34月
勤続35年	47.50月	59.28月	47.50月	59.28月
最高限度額	59.28月	59.28月	59.28月	59.28月
平均支給額	29万円	2,708万円		

(注)「平均支給額」は、前年度に退職した職員に支給された退職手当の1人当たりの平均額である。

④住居手当(平成23年4月1日現在)

貸家居住者	月額12,000円を超える家賃を支払っている者に対して27,000円を限度に支給。
-------	---

⑤通勤手当

交通機関利用者	交通機関等を利用して通勤する職員に対して運賃等相当額を支給。(55,000円を限度)
交通用具利用者	自動車等を利用して2km以上通勤する職員に対して、通勤距離区分により26,500円を限度に支給。

⑥地域手当(平成23年4月1日現在)

支給対象地域	東京都特別区 18%
	大阪市 15%
	広島市 10%

●職員数の状況(各年4月1日現在)

区分	一般行政 部門	教育行政 部門	公営企業等 会計部門 (市立病院除く)	合計
23年度	427人	78人	44人	549人
22年度	422人	91人	46人	559人
増減	5人	▲13人	▲2人	▲10人

(注) 1 雲南市の条例による定員は654人です。
2 職員数については、平成23年度地方公共団体定員管理調査に基づく職員数である。

☆平成23年4月1日から基本給を2~3%、管理職手当を一律10%減額支給しています。

この【概要版】は、給与・定員管理等について公開する情報の一部を抜粋したものです。

このほかの情報については、雲南市のホームページ (<http://www.city.unnan.shimane.jp>) に掲載しています。

問い合わせ先：雲南市役所総務部人事課人事給与グループ ☎0854-40-1021

第三セクター等の業務内容と経営状況を報告

平成22年度末現在、市が出資または出捐する法人（第三セクター・財団法人・土地開発公社）は6つあります。このうち、地方自治法第243条の3第2項の規定により市議会に報告した、土地開発公社及び市の出資割合が2分の1以上の第三セクター及び財団法人について、平成22年度の経営状況をお知らせします。（**榎吉田ふるさと村**は市の出資割合が2分の1以下の第三セクターです。）

雲南市では、決算資料等に基づき、定期的な点検評価を行いながら、より一層効果的かつ効率的な法人運営となるよう努めてまいります。

【問】政策推進課 ☎0854-40-1011

株式会社キラキラ雲南				木次都市開発株式会社			
設立年月日	平成6年4月1日	資本金額 (市の出資割合)	3,000万円 (80%)	設立年月日	平成2年4月2日	資本金額 (市の出資割合)	1,300万円 (86.2%)
主な業務内容	◇文化・スポーツ事業の企画運営 ◇「ラメール」、「チェリヴァホール」、「古代鉄歌謡館」、「アスパル」、「加茂B&G海洋センター」、「加茂中央公園」、「大東公園」の施設管理運営			主な業務内容	◇特産品販売 ◇レストラン経営 ◇「おろち湯ったり館」、「サンワーク木次」、「木次健康の森」の施設管理運営		
総収入	1億9,772万円	※指定管理料1億4,150万円、補助金300万円を含む		総収入	1億2,128万円	※指定管理料3,118万円を含む	
当期純利益	3万円	利益剰余金	24万円	当期純利益	166万円	利益剰余金	22万円

木次道の駅株式会社				財団法人鉄の歴史村地域振興事業団			
設立年月日	平成13年4月5日	資本金額 (市の出資割合)	2,000万円 (51%)	設立年月日	昭和63年11月16日	資本金額 (市の出資割合)	6,000万円 (50%)
主な業務内容	◇レストラン経営 ◇道の駅「さくらの里さすき」の施設管理運営			主な業務内容	◇たたら製鉄に関する文化事業の企画運営 ◇「菅谷たたら山内及び山内生活伝承館」、「鉄の歴史博物館」、「鉄の未来科学館」、「地域特産品処理加工施設」の施設管理運営		
総収入	1億3,682万円	※指定管理料120万円を含む		総収入	2,899万円	※指定管理料2,115万円、補助金105万円を含む	
当期純利益	△263万円	利益剰余金	312万円	一般正味財産 増減額	△800万円	一般正味財産 期末残高	2,255万円

雲南市土地開発公社				株式会社吉田ふるさと村			
設立年月日	昭和50年5月29日	資本金額 (市の出資割合)	500万円 (100%)	設立年月日	昭和60年4月1日	資本金額 (市の出資割合)	6,000万円 (25.0%)
主な業務内容	◇公共用地、公用地等の取得、管理・処分等			主な業務内容	◇農林産物加工食品の製造販売 ◇管工事、下水道施設工事 ◇雲南市民バス「広域路線バス」「吉田地域バス（予約型バス含む）」の運行管理業務 ◇国民宿舎「清嵐荘」の施設管理運営 ◇第三種旅行業 ◇たまごかけごはん専門店「飯匠お玉はん」の経営		
総収入	1億4,491万円			総収入	1億4,491万円	累積準備金	6億9,779万円
当期純利益	△984万円			当期純利益	△984万円		

行政組織見直し、新庁舎建設の検討状況

行政組織見直し 検討委員会

8月26日に開催された「第4回雲南市行政組織見直し検討委員会」（岡田盛行委員長）で出された意見など概要は次のとおりです。

■方針の見直し

○新聞記事で、田井出張所を2014年度末までに廃止となっていて、これは検討委員会で検討する余地もないというふうに全員協議会で話されたのか。
○総合センターの機能を、全体的に見直されるのか、それともこれまでと同様なものが、木次総合センターを存続するだけなのか。
○福祉業務の代替案
○今の構想だと、相談をすべて本庁で受けるという話であり、ニーズによっては、すべてを本庁で対応したほうがパンクするのではないかと。
○健康福祉部の内容では、正規職員でなくても委託で済むような話になりかねない、そういう考えはあるか。
○地域によってものすごく業務が多いとか少ないとかいうことであればそういうものを反映させて体制作りをしなればいけないのでは。

○総合センターあるいは本人宅へ出向いて相談してもらうことになる、これまでに比べてサービスレベルの低下はないというふうに理解すればよいのか。
○地区担当が対応するという話だが、本当にそんな体制がとれて、今までどおりのかたちができるのか。
○小型除雪機を市のほうで購入し、団体に貸し出しするという方法はとれないものなのか聞きたい。
○地域は地域で守ってという考え方はあり、地域で努力はしている、考えに入れているので、考えに入れておいていただきたい。
○除雪は県のやる部分と市がやる部分とがうまくかみ合っていないことにより、時間がかからなくなると思う。
○木戸道の地域内での助け合いでやっていかないと到底追いつかないと思っている。
○どこを優先的にやるのかは地元の出身の職員でない、全然わからないと思う。

○お互いに助け合いのできる部分はお互いにやっていく、そういうことを踏まえながら、我々委員もそういうサイドで物事を言っていると思っている。

○総合センターの中で消防防災担当がないと一抹の不安を感じる。自助、共助といったこともあるが、公助の方もフォローして考えて計画を立てていただきたい。
○業務を他団体等へ移管、各種団体等への対応の見直しについて整理した資料をいただきたい。
☎0854-40-1024

新庁舎建設市民 検討委員会

○新庁舎建設市民検討委員会の、第4回検討委員会が8月30日、第5回検討委員会が9月21日に開催されました。検討委員会における検討状況の概要は次のとおりです。

■第4回検討委員会

○規模は別として、建設すべきではないかと考える。合併協議、市議会においても示された。市民の考えはそちらに向いていると思っ

○合併前から検討された経過は非常に重たいものがあるという事は非常に感じており、必要性というものは必要だと思える。ただ規模・機能については再度検討すべきと思う。
○暫定本庁舎が狭い、古いというのは誰も知っている事、もう少し広くてしっかり職

員に仕事をしてもらおうという施設があるということに反対することはないと思う。反対論・慎重論は財政が不安視されるからだ。
○合併協議会、市議会でも検討されてきたと言われているが、市民のコンセンサスは十分に得られていないのではと思う。財政問題も含め、もう少し話し合いをする場を設けるべきではないかと

○検討委員会に対して風当たりが強い感じがする。市政懇談会でもアンケートの実施について意見が出されており、是非行ってほしいと思う。
○基本的に新庁舎の建設は前向きに進めるべきだと考えているが、検討委員会委員は詳しい説明を受け、視察も行った。市民の皆さんが検討委員と同じレベルで新庁舎の必要性を理解できているかどうか疑問。十分な説明もされていない中で迷われている点もかなりあると思う。市民の皆さんにもっと詳しく説明される必要があるのではないかと。○必要性については暫定本庁舎の環境、状況、分散、特別債の関係の話を聞くことと建設は前向きに進めるべきだと思っ

ニュース

日本橋で雲南市フェアを開催しました

10月7～10日、島根県のアンテナショップ「にほんばし島根館」(東京都)で「島根県雲南市 食と歴史の幸体感フェア」を開催しました。

「食の幸」は、雲南市農商工連携協議会に所属する9社が参加し、雲南市内で生産・加工された商品のPRと販売を行いました。来店した30代の女性



は「こだわりの商品の説明を聞いていたらカゴの中がいっぱいになってしまいました」と楽しそうでした。

「歴史の幸」は、店内で雲南市観光推進員により古事記を中心とした出雲神話のセミナーを行いました。参加した20代の女性は「初めて『古事記』について詳しくお話を聞き、島根県の歴史的偉大さを知りました。島根の地をまだ一度も踏んだことがないので、もっと詳しく学んで出雲の国へ参りたいと思います」と語られました。

連休を含む日程であったことと速水市長をは

じめスタッフによる店頭での懸命な呼び込みで、レジ前には行列ができるほど大変多くのお客様に来店いただき、雲南市の大きなPRとなりました。

健康長寿のまちをめざして

9月18日、木次町のチェリヴァーホールで島根県国民健康保険団体連合会と共催で「健康づくり講演会」を開催しました。

講演では、「医師が糖尿病になった」と題して、日本総合医学会会長の渡邊昌先生の講演が行われました。

渡邊先生は、自らの糖尿病体験をもとに、食事や運動など生活習慣の改善も含めた統合医療の大切さを語られました。



渡邊先生と速水市長との記念対談では、「東日本大震災以降、国民は安全な食料や人とのつながりの大切さに気づき始めた。雲南市は安全な食料や地域の絆に溢れている。それを全国に向けて発信していったらどうか。」「学校給食にも玄米食を取り入れてはどうか。」など、様々な提言が行われました。

ホール入口では、国保連合会による「骨密度・血管年齢測定」が行われ、多くの人が測定を受けられました。また、市内での食育に関する取り組みを紹介するパネル展や、「健康長寿しませ推進会議」の取り組みを紹介するパネル展が開催されるなど、日頃の生活習慣、健康づくりを考える機会となりました。



大東西小学生 人命救助により感謝状



9月2日、赤川に転落している男性を台風接近で集団下校している二地区の児童14人が発見し、手分けをして近所の商店や民家へ行き、大人を呼んだり、救急車を呼んだりして、男性を救助しました。雲南警察署は、児童たちの行動に多大な功績があったとして、29日、全児童の前で感謝状を贈りました。

救助された男性は、現在入院中で児童たちにお礼の手紙で「早く家に帰りたいかっと思っけど、悪天候にも関わらずみんなの勇気ある行動で助けてもらいました」と感謝の気持ちを伝えました。

雲南市土地改良区 誕生!

旧大東町土地改良区、旧加茂町土地改良区、旧木次町土地改良区、旧三刀屋町土地改良区、旧吉田町土地改良区及び旧掛合町土地改良区が合併し、新しく「雲南市土地改良区」が誕生しました。

これまで、平成19年度から市内6町の土地改良区の合併協議を重ね、本年2月22日に合併予備契約を締結し、10月1日付けで新設合併が認可されたところです。

今後は、11月に総代選挙、12月には第1回総代会が開催され、理事長等の役員が選任される予定です。

雲南市ものづくり人材養成講座

9月8日、9日、加茂総合センター及び国民宿舎清風荘で合宿形式の「雲南市ものづくり人材養成講座」を開催し、市内企業の製造現場の管理責任者など約20名が参加しました。この講座は、ものづくり生産現場における「改善(カイゼン)」をテーマに、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底により従業員のモラル向上、生産の効率性、職場の安全性向上を図り、併せて異業種間の連携・交流の促進を目的に実施しました。

受講者から「初めてのモラル訓練、他社での改善実習等普段出さない体験をして、大変良かった」「最初はとまどい、不安があったが、他の受講者の方と色々意見



交換ができ大変良かった。改善の仲間が出来た」などの感想が寄せられました。

市長コラム

地域の絆、支え合い

10月末で雲南市が発足して7年になります。あっという間に過ぎた気がします。この間の市民の皆様への市政運営へのご理解ご協力、県外ふるさと会、県、国等多方面からのご支援、ご声援に心から感謝致します。これまでもこれからも市政運営の要諦は、健全財政の確立・維持、市の一体的発展、健康長寿・生涯現役であると確信しています。

こうした雲南市も少子化、高齢化が進み超高齢化自治会の増加、高齢者の社会的孤立等が進みつつあります。

3月11日に起きた東日本大震災では多くの被災者の方々が仮設住宅での生活を余儀なくされていますが、そこでは被災された方々同士の助け合いや全国からのボランティア活動が展開されており、地域の絆、支え合いの強さに感動すると共に、一日も早い復興を願わずにはられません。

翻って雲南市の状況も、交流センターを拠点とした地域福祉活動の推進を主体として、今までも増して地域の絆、地域住民の支え合い、小地域福祉社会の構築が求められています。



島根県雲南合同庁舎に開設された「法務局登記証明コーナー」でサービス開始式をする市長 (10月11日)

10/9

各地でふるさと秋祭り始まる

第29回掛合町ふるさとまつりが掛合中学校周辺で行われ、掛合保育園園児のしゅっきり太鼓、掛合音頭、大ジャンケン大会、掛合太鼓揃い打ち、むかで駅伝などで盛り上がりました。



9/25

山王寺棚田で稲刈り体験

大東町の山王寺棚田で「田んぼの学校～稲刈りコース」が開催され、参加した50人（内子供17人）が黄金色に実った古代米（黒米）の稲刈りを体験しました。地元の方から稲の刈り方の指導を受けた後、稲刈りが始まり、刈り取り後にはハデ掛け作業を参加者全員が行いました。参加者は「稲刈りは大変だったけど、家族で楽しい時間が過ごせた。」「はじめてハデに登って風がきもちいい!」「棚田の景色を見ながら食べたおにぎりが最高!」と笑顔で話していました。10月の収穫祭コースでは、稲の脱穀、粳すり、さつまいも掘りを行います。



9/26

気をつけて運転しましょう!



雲南市交通安全対策協議会木次支部が秋の交通安全運動期間に合わせて、木次町の国道54号沿いで「交通安全 TENT 村」を開設しました。当日は雲南警察署、交通指導員、木次町交通安全母の会、交通安全協会の皆さんに、斐伊幼稚園児8名も参加して、運転者に交通安全グッズを配り「安全運転で気をつけて」と交通安全を呼びかけました。

9/23

銅鐸出土15周年記念コンサート



全国最多を誇る銅鐸が発見されて15周年を迎える記念コンサートが加茂岩倉遺跡で開催されました。「出雲神話とラフカディオ・ハーンの祀り」と題したコンサートは、株式会社キラキラ雲南が主催し、地元地域自主組織「銅鐸の里岩倉」の協力により開催されました。掛合太鼓の演奏の後、夕闇が迫る中、薩摩琵琶奏者 坂田美子さんの幽玄な琵琶の音と平家物語が谷間に響き渡りました。琵琶の音は多くの聴衆を魅了し、会場は終始幻想的な雰囲気包まれていました。

9/15

ロンドン五輪めざして!



韓国大邱広域市で行われた世界陸上競技選手権大会の女子10,000mと5,000mに出場した杉原代代さんが速水市長へ報告に訪れました。結果は、10,000mでは決勝に出場し15位、5,000mでは予選で9位となり、決勝へ進むことはできませんでした。杉原さんは「今回の世界陸上への出場はいい経験になりました。来年行われるロンドンオリンピックに10,000mで出場できるよう頑張りたい」と次の目標を語りました。

9/29

島大生が雲南市と出会うバスツアー



島根大学が本年度から開講している就業力育成支援事業で、地域貢献人材育成コースを選択した学生19名が、市内を調査しました。これは、来年度から授業の一環として、学生が地域に出かけ、地域活動に取り組むこととしていることから、事前に、雲南市内の現状を調査したものです。当日は、市内の地域自主組織の活動の状況や、たたら製鉄について学び、来年度の活動に活かすこととしています。

雲南病院だより

平成22年度 公立雲南総合病院組合事業会計決算報告

決算概要

平成22年度は、病床利用率のアップにより入院収益が大幅アップとなりました。また、1億9,800万円の特別利益計上もあり、14年振りに1億4,063万円の黒字決算が図れました。また一番重視している内部留保資金が単年度で1億4,856万円蓄積ができ、経営改善が図れました。

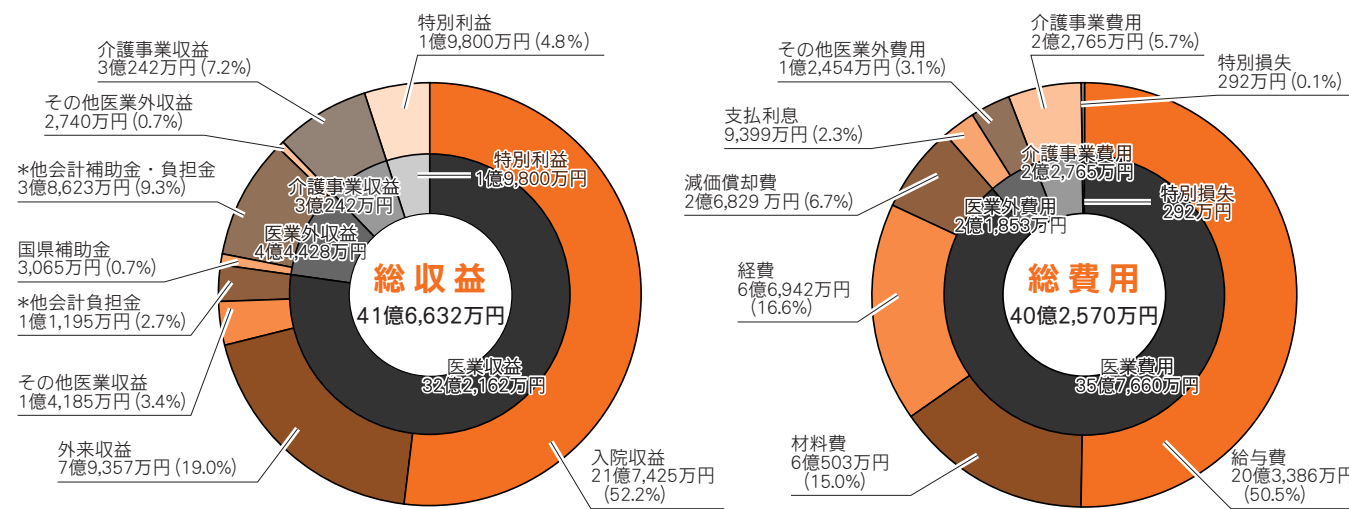
業務量

- 1、病院事業
 - (1) 病床数 283床
〔一般199床・精神50床（一時的閉鎖）・回復期リハビリ30床・感染症4床〕
 - (2) 患者数 入院：73,048人（前年度64,414人）
1日平均患者数：200.2人（前年度176.5人）
外来：100,577人（前年度105,925人）
1日平均患者数：413.9人（前年度437.7人）
- 2、介護事業
 - (1) 訪問看護事業 延利用者数 5,768人（前年度5,755人）
 - (2) 訪問介護事業 延利用者数 1,330人（前年度2,316人）
 - (3) 療養病床事業 入院患者数 15,827人（前年度15,033人）
〔療養（介護型）48床〕（療養病床1日平均患者数43.4人）（前年度41.2人）

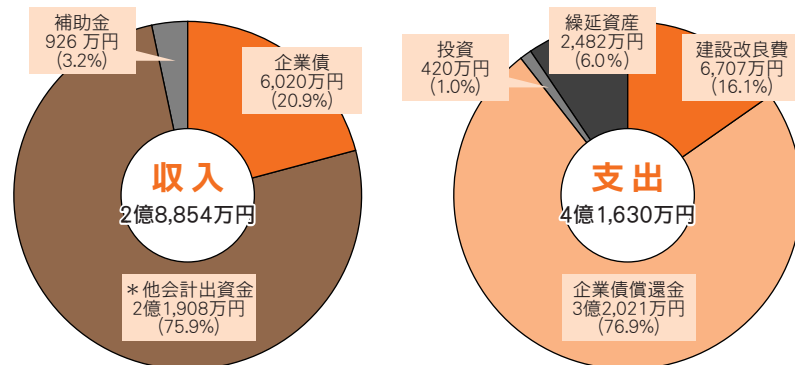
●貸借対照表（H23.3.31現在、消費税抜き）

資産		負債及び資本			
固定資産	土地	3億6,223万円	負債	固定負債	0
	建物	25億2,326万円		流動負債	3億 559万円
	器械備品	2億6,674万円		自己資本金	16億9,871万円
	その他	2,937万円		借入資本金（企業債）	34億 982万円
	無形固定資産	0		資本剰余金	9億 266万円
	投資	424万円		減価積立金	300万円
流動資産	7億2,390万円	資本	建設改良積立金	7,805万円	
繰延勘定	1億4,840万円		未処理欠損金	23億3,969万円	
資産合計	40億5,814万円	負債・資本合計	40億5,814万円		

収益的収支（消費税抜き）



資本的収支（消費税込）



●収益的収支の状況（消費税抜き）

区分	決算額
総収益	41億6,632万円
医業収益	32億2,162万円
医業外収益	4億4,428万円
介護事業収益	3億 242万円
特別利益	1億9,800万円
総費用	40億2,570万円
医業費用	35億7,660万円
医業外費用	2億1,853万円
介護事業費用	2億2,765万円
特別損失	292万円
収支差引	1億4,062万円

●資本的収支の状況（消費税込）

区分	決算額
収入	2億8,854万円
支出	4億1,630万円

資本的収入が支出に不足する額1億2,776万円は内部留保資金で補っています。
*一般会計からの繰入れは総額で7億1,726万円（収益的収支：4億9,818万円、資本的収支：2億1,908万円）となっています。

展示コーナーのご紹介

病院ボランティア ふれあい花壇



展示者：大東おりづる会

【10月の展示作品紹介】

「職場体験活動」

9月26～28日の3日間、雲南市『夢』発見ウィーク（中学生職場体験学習）として12名の市内生徒が当病院で体験活動しました。看護体験や医療技術職場体験（リハビリ、薬剤科、検査技術科、放射線科、栄養管理科）、病院食堂での体験など様々な専門職を体験しました。体験を終えた生徒は「病院はたくさんの方の職種の方が協力しあって働いていてイメージが変わりました。」と感想を述べていました。

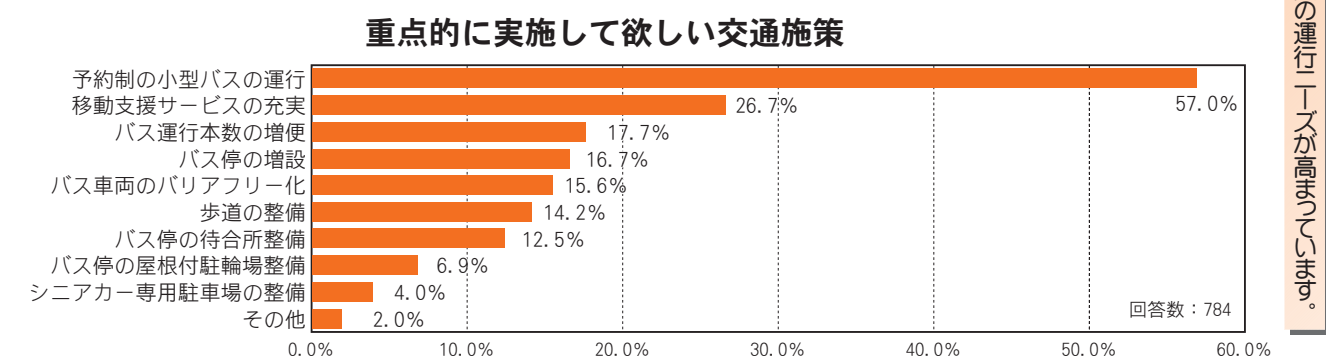
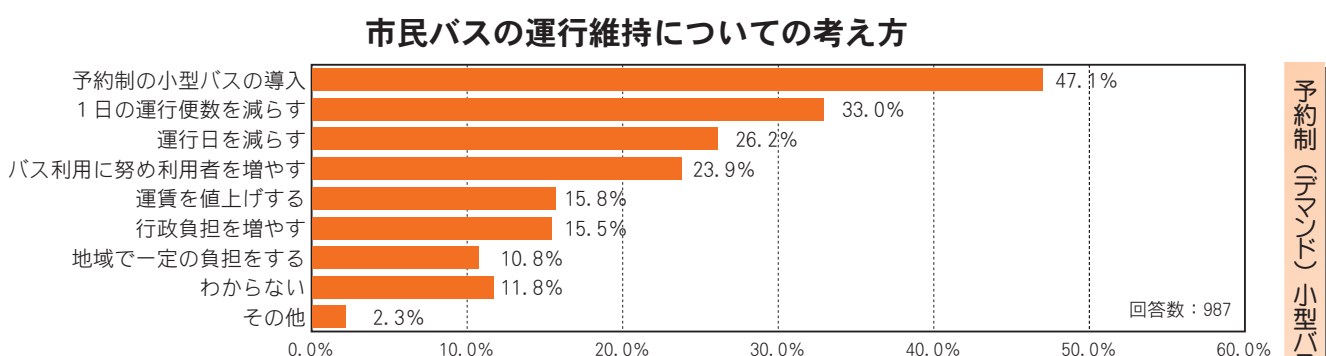
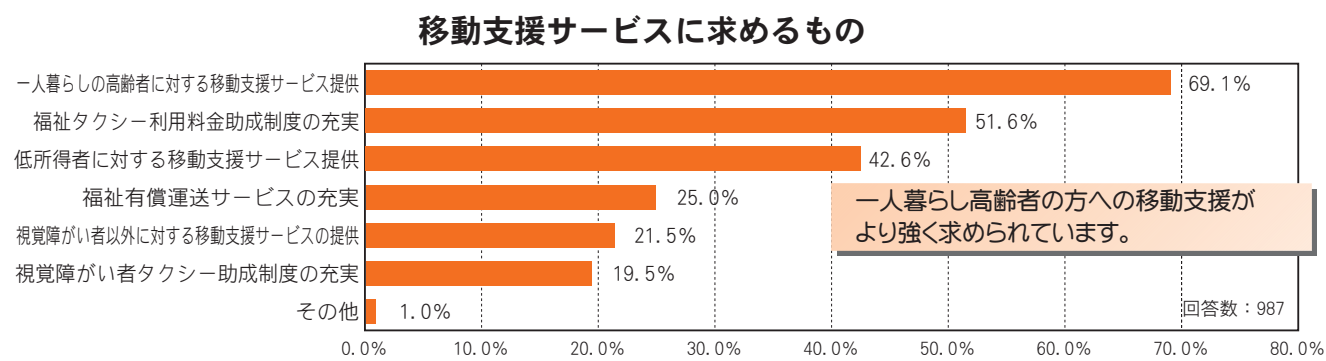
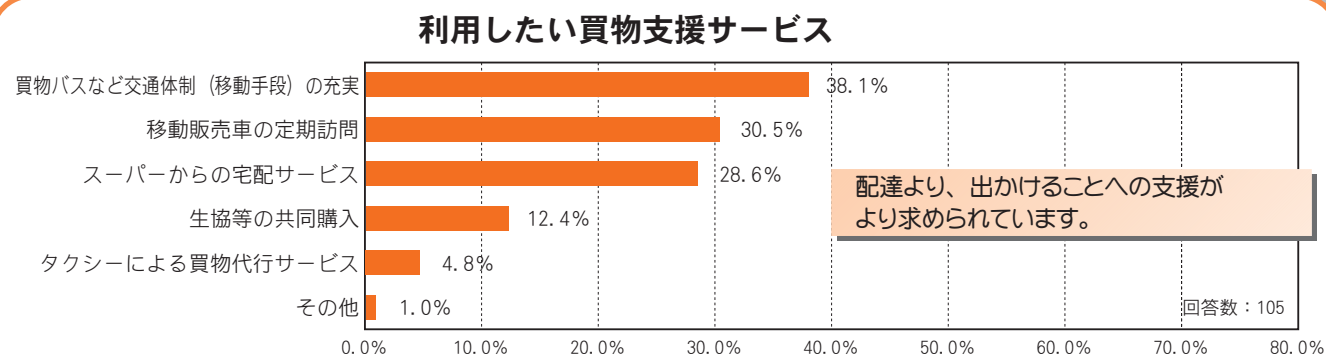


また、10月12～14日には、三刀屋高校1年生6名の生徒が看護師職場を中心に職業体験を行いました。普段はあまり入室できない手術室の見学をしたりと貴重な体験をすることができました。参加した生徒は、将来医療職をめざしていることもあり、積極的に質問や行動をしていました。この職場体験活動が、今後の高校生活や進路を考える上で、役に立てばと思っています。



◆公共交通・市民バスの見直し◆ シリーズ②

雲南市では『雲南市市民バス再編計画』策定の基礎資料にするため、9月にアンケート調査を行いました。対象自治会の皆様には、アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。その結果の一部を紹介します。このアンケートを通して、皆様からいただいたご意見を、今後の計画策定に活用してまいります。



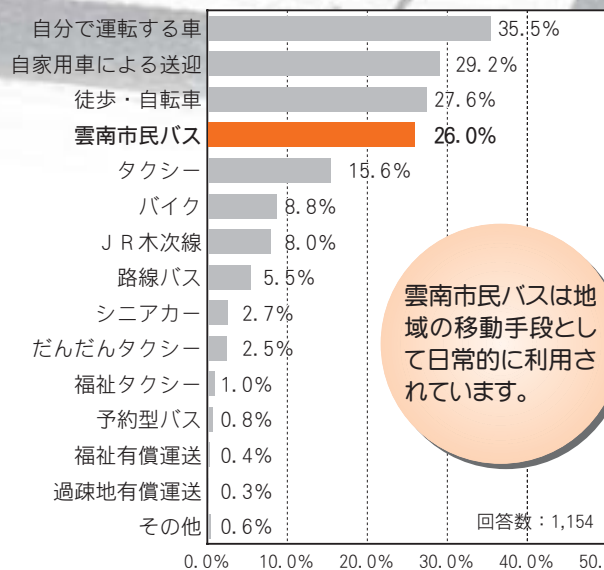
ご意見をお寄せください

市報やホームページで、『雲南市市民バス再編計画』について情報を発信します。皆様のご意見・ご要望等をTEL・FAX・Eメールにてお寄せください。

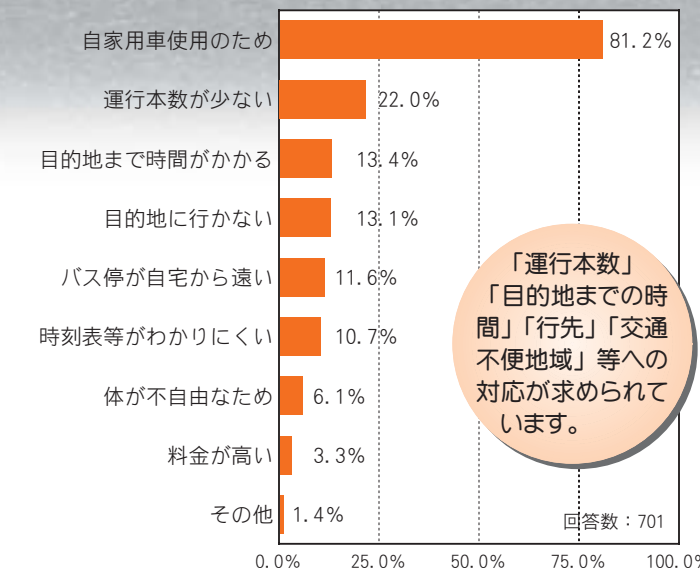
雲南市政策企画部 地域振興課
 TEL 0854-40-1014
 FAX 0854-40-1019
 E-mail:chiikishinkou@city.unnan.shimane.jp



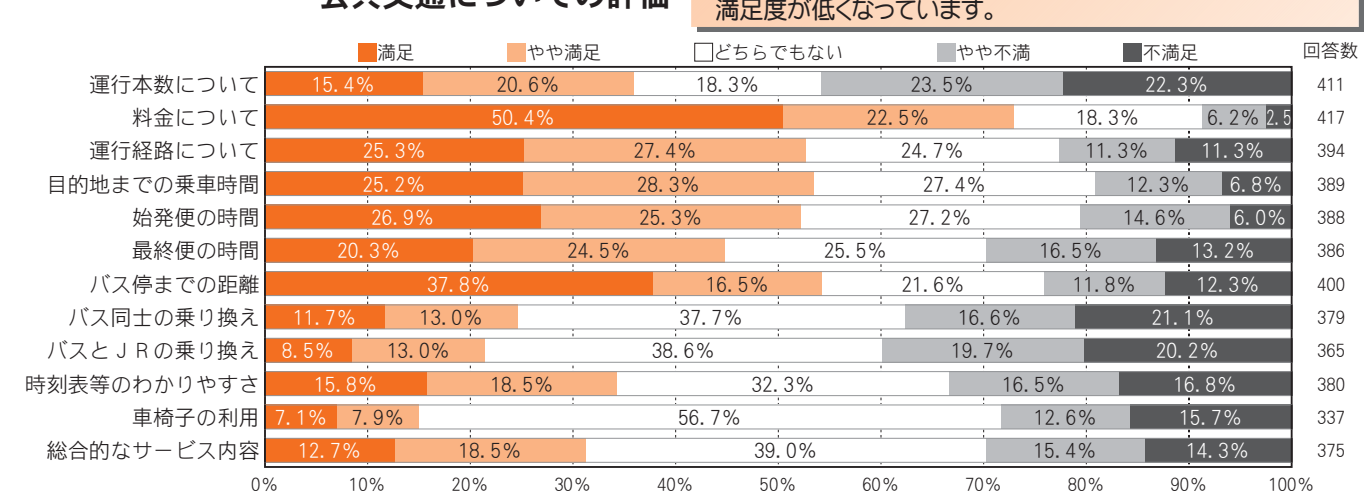
普段利用する交通手段



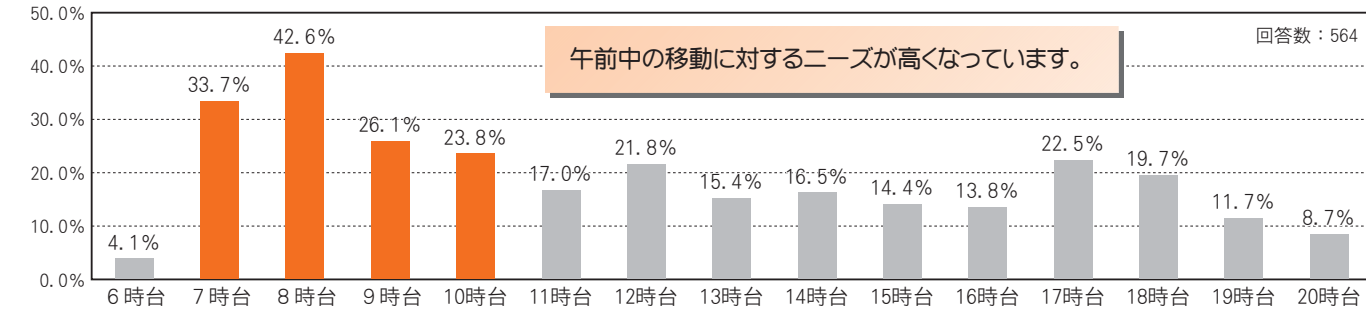
公共交通を利用しない理由



公共交通についての評価



バスや乗合タクシーが必要な時間帯





よい歯でよくかみ、
五感をフルに活用！

◆◆◆◆◆
食事の前に五感を使うことで
食事行動がスタート
◆◆◆◆◆

◇視覚

目から入ってきた食材や素材の情報によって、脳の神経が刺激され、胃酸・胆汁・消化酵素の分泌・腸のぜん動運動の準備など、食事行動のスタートラインにつくことができます。

◇聴覚

食材を切ったり刻んだりする音、卵を割ってかき混ぜる音、めざしやアジの開きなどが焼ける音、食卓を準備する時に食器が触れ合う音。この音が人間の耳から入ってくる

刺激のシグナルで、胆汁や胃酸が分泌し、食事を準備に入ります。

◇嗅覚

においという直接的な五感を刺激することは食欲をそそるだけでなく、食事行動を準備するからだにとって大きな影響をもたらすシグナルとなります。

五感を刺激することが単に食材を味わうだけでなく、栄養素を吸収するための前段階である消化分解というプロセスに大きな影響を与えます。

◆◆◆◆◆
五感をフルに使う食事は、
脳の機能を活発にする
◆◆◆◆◆

食べものの味、におい、かむときの音、盛り付けの美しさ、かみごたえ、のどごし、よさ、会話など、よくかんで会話を楽しみながら食事をすると五感が育まれ、たくさん感覚情報が一挙に脳に伝わります。その情報量が多ければ多いほど脳の働きが活発になり、学習力や判断力、意欲などが向上します。

食事の時には、テレビなどをやめて食事を楽しみましょう。

味わう（味覚）
甘い、しょっぱい、にがい、すっぱい、うま味

かぐ（嗅覚）
食材そのものや料理からただよぶにおい

見る（視覚）
食材や盛り付けの彩り、形など



聞く（聴覚）
ジュウジュウ焼く音、グツグツ煮る音、バリバリ食べる音、会話など

さわる（触覚）
野菜を洗う、ちぎる、皮をむく、舌ざわり、歯ざわり、かみごたえなど

健康推進課
☎0854-4011045

こげなことしとーます
51 研究所
うんなん

このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします！

雲南保育研究会、
子どもの運動あそびに関する
専門職支援

研究所うんなんでは、子どもの健康づくりを促進するため、様々な取組を行っています。

7月28日（木）は、幼児期の健康づくりを目的に、雲南市・飯南町・奥出雲町の保育所保育士を対象に「身体を動かすことの楽しさと大切さについて」と題し、講義と実技を行いました。



身体教育医学研究所うんなん
☎0854-4510300

実技研修



「ストレッチ」
まずは、保育士さん自らの健康づくり

「一本橋バランス（環境づくり）」
皆で意見を出し合い、子ども達が楽しく遊べる環境づくりを体験

講義では、幼児期はいろいろな動作が身につく時期であることから、ゴールデンエイジと呼ばれ、『様々な動きを経験することが最も大切である』ということを報告しました。

実技では、子ども達が楽しく身体を動かす環境づくりをグループごとに考えました。

研究所うんなんでは、『楽しく遊びながら、自然と心身の健康が育まれる』そんな仕組みづくりを今後支援していきます。

国際交流員(CIR)の迷言コーナー
Hello Everyone うん、なんでしょう



こんにちは、スザンナです。

9月に3週間アメリカに帰りました。ちょうどニューヨークとワシントンDCの9・11テロ事件から10年目でした。9月11日にまたテロが起こるのではないかと皆が心配していて、ニューヨークをはじめ、どこに行っても警察が多くて異様な雰囲気でした。

9・11事件から10年経ち、事件後のアメリカは変わったかどうかという話はたくさんありました。一番納得できた話は警察の検問所で皆が文句を言わずに待っていたことが10年前はありえなかったという指摘です。確かに9・11事件の前は検問などがあれば文句を言う人が多かったです。

私は9月11日にカリフォルニアにいました。その夜地下鉄で大学の近くからサンフランシスコまで行きました。大学とサンフランシスコの間には湾があります。電車は湾の下のトンネルを通りサンフランシスコに向かいます。電車がトンネルの中を通過して

いたときに電車がいきなり止まって、運転手が車内放送で「次の駅で問題があって警察からこの電車は待つように指示されました」と伝えました。一瞬テロがあったかと心配しましたが、電車にいる人が皆ごく普通の顔で、このように電車が遅れるのも毎日のことなのかなと思って安心しました。

次の週末はニューヨークに行って最近できた9・11事件の追悼碑を見に行きました。2棟の建物があった跡地には人工池が設けられ、周囲の記念碑には犠牲者の名前が刻まれています。周りに木がたくさんあって穏やかで静かなところでした。今年、新しい世界貿易センタービルの建設も始まりました。ニューヨークなどで起こったテロとこれからの復興の象徴となる新しい貿易センタービルとテロ事件の記念碑を見て、こんな悲惨なことがあった所でも復興ができるのなら、地震によって大きな被害を受けた日本でも、国民の熱意によってきっと復興できるのだと思うました。



手前に人工池と追悼碑、奥が建設中の新世界貿易センタービル

日本一短い
感謝の手紙 14

今回は職場体験に来られた中学生が選びました。

給食センターの方へ
いつもおいしい給食を作ってくださいありがとうございます。これからも毎日楽しみにしています。

給食センターの方へ
いつもおいしい給食ありがとうございます。冬など寒いのに一生懸命作ってくださる給食は、心あたたまると嬉しいです。

父母へ
試合の時に、応援してくれて、ありがとうございます。おかげで、リラックスして試合に挑めたよ。これからもよろしく！

お父さんへ
いつも、夕食を作ってくれてありがとうございます。家の方はいつもいそがしくて大変だけれど、そんなお父さんは、すごいと思うよ。

臭子より

臭子へ
君は、多少の失敗や、間違いがあっても忘れてしまふ楽天的な臭子が、一緒にいて楽しくなります。

父より

おかあさんへ
漢字れんしゅうをみまもってくれてありがとうございます。おかげで、いっぱい漢字が、かたよほんとうに、みまもってくれてありがとうございます。

むすめより





11月で満1歳 おめでとう

わが家の HOPE



加藤公孝さん・智子さんのお子さん

こうき 煌輝ちゃん (大東町畑鴨)
平成22年11月9日生まれ
こうちゃん、誕生日おめでとう♡
みんな、こうちゃん笑顔が大好きだよ♡



石橋智典さん・弘美さんのお子さん

はると 陽翔ちゃん (大東町大東)
平成22年11月11日生まれ
陽翔1歳おめでとう☆
陽翔の笑顔でみんながニコニコだよ♡
元気に大きくな～れ♡



藤本卓郎さん・美緒さんのお子さん

たみ 多美ちゃん (加茂町加茂中)
平成22年11月30日生まれ
たみ、たんじょうびおめでとう♡
お父さんもお母さんもたみのことが大好きです！すくすく育ちますように。



佐々木真司さん・綾子さんのお子さん

ひなた 陽向ちゃん (大東町大東)
平成22年11月15日生まれ
たんじょうびおめでとう☆
いつもニコニコ家を明るくするひなちゃん♡ 元気に大きくなってね♡



川角裕一郎さん・絵美さんのお子さん

こはる 心遥ちゃん (三刀屋町三刀屋)
平成22年11月14日生まれ
こはちゃん誕生日おめでとう☆
これからも笑顔いっぱい健やかに♡ おいしいちゃん、おばあちゃんいつもありがとう。



伊藤昭男さん・真弓さんのお子さん

かなと 叶登ちゃん (大東町幡屋)
平成22年11月17日生まれ
祝1歳☆ いつも叶登スマイルありがとう♡ 優吾&秀馬兄ちゃんと共に成長して行ってね(^o^)

- ①お子さんの名前 (ふりがな)
- ②お子さんの誕生日
- ③ご両親の名前 (ふりがな)
- ④住所
- ⑤電話番号
- ⑥コメント (40字程度)

12月で満1歳(平成22年12月生まれ)のお子さんを募集!

写真に右の6項目の内容を添え、郵便またはE-Mailで
11月7日(月)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015

郵送される場合のあて先
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
雲南市役所情報政策課「わが家のホープ」係

E-Mailを送られる場合のあて先
jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のホープ」としてください。)

※市ホームページにも市報うんなんに掲載します。
※お送りいただく個人情報は「わが家のホープ」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当課からの電話がないときはお問い合わせください。

市役所からのお知らせ

おめでとうございます

◎叙位受章

従五位
教育功勞により
故 古瀬 明さん (三刀屋町)

人権擁護委員を 紹介します

人権センター
☎0854-42-1767
平成23年10月1日付けで、
次の方が継続して法務大臣から
人権擁護委員に委嘱されました。
任期は3年です。
藤原豊善さん (三刀屋町)

ねんきん定期便・特別 便相談会

市民環境生活課
☎0854-40-1031
日本年金機構構松江年金事務
所では、市民の皆様の利便を
図るため、島根社会保険労務
士会の協力により、ねんきん
定期便・特別便の臨時相談を

10月から子ども手当が 変わりました

市民環境生活課
☎0854-40-1031
10月からの子ども手当を受
け取るためには、これまで手
当を受け取っていた方も含め、
全ての方について申請が必要
です。
平成23年10月1日の時点で
受給資格のある方は、平成24
年3月末までに申請をすれば、
10月分から手当を受け取るこ
とができます。
ただし、次の方は届出の期
間が定められており、さかの
ぼって受け取れませんので速
やかに申請をしてください。

東日本大震災義援金の 受付期間変更

健康福祉総務課
☎0854-40-1041
3月11日に発生した東日本
大震災の被災者に対しての義
援金の受付期間を、3月15日
から当分の間としておりまし
たが、平成24年3月31日まで
とします。
次の受付場所に募金箱を設
置していますので、引き続き
市民の皆様のご協力をお願い
します。
【受付場所】
市役所本庁 (健康福祉部・
市民環境部・総務部) ・各総
合センター
雲南市社会福祉協議会本部
・各支部

徘徊 SOS ネットワー ク協力機関の募集

雲南市商工会本所・各支所
徘徊 SOS ネットワー
ク協力機関の募集
このネットワークは、徘徊
により行方不明になった方の
状況等を協力機関へお知らせ
し、目撃情報などの情報提供
をいただくことにより早期発
見へ繋がります。
また、個人の協力会員も募
集いたします。メールアドレス
または FAX による登録に
なります。
詳しくは地域包括支援セン
ターへお問い合わせください。
多くの方に協力いただきます
ようお願いいたします。
地域包括支援センター、総
合センター保健福祉課で高齢
者の相談を受けております。

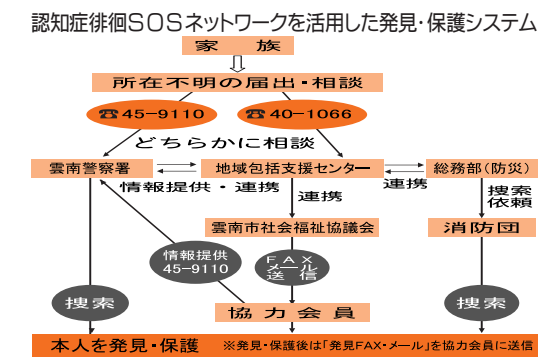
広告枠

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

お気軽にご相談ください。
認知症徘徊相談・高齢者虐待
相談 専用電話(24時間対応)
☎0854-40-1066



雲南市幼稚園 園開放

学校教育課
☎0854-40-1072
雲南市内の幼稚園では、次のように幼稚園開放を行います。在園児といっしょに遊んでみませんか。ご希望の方は、保護者同伴でおいでください。幼稚園ごとに開放日が異なる

Table listing various kindergartens and their contact numbers, including 大東幼稚園, 西幼稚園, etc.

市外局番はいずれも0854です。

今月の金・国民健康保険料(第5期)
後期高齢者医療保険料(第5期)

納期限は
11月30日(水)

12月4日～10日は
人権週間です

人権センター
☎0854-42-1767
12月4日～10日は人権週間です。
1948年12月10日に、国際連合にて世界人権宣言が採択されたことを記念して、日本では12月10日までの7日間を毎年「人権週間」と定めています。

特設人権相談所の開設

人権センター
☎0854-42-1767
出雲人権擁護委員協議会と松江地方法務局出雲支局では次のとおり特設人権相談所の開設をします。
【大東町】
開設日 12月14日(水)
時間 午前10時～午後1時
場所 大東総合センター
【加茂町】
開設日 12月1日(木)
時間 午前9時～正午

毎月第3日曜日は
うんなん
家庭の日
11月20日
社会教育課
☎0854-40-1073

【木次町】
開設日 12月10日(土)
時間 午前9時～正午
場所 チェリヴァホール
【三刀屋町】
開設日 12月8日(木)
時間 午前10時～午後1時
場所 三刀屋交流センター
【吉田町】
開設日 12月5日(月)
時間 午前10時～午後1時
場所 吉田健康福祉センター
【掛合町】
開設日 12月8日(木)
時間 午前9時～正午
場所 掛合まめなセンター
毎日の生活の中で、悩み事や困りごとをお持ちではありませんか？相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

国際交流員による
料理講座



中華料理は世界中で人気があり、その味付けも国によって様々です。国際交流員と一緒に韓国とアメリカの中華料理に挑戦してみましょう。

【とき】 11月20日(日) 10:00～14:00
【場所】 かもてらす

【作る料理】
韓国：チャジャン麺(黒い麺料理)
タンスクゥ(酢豚に似ているもの)
アメリカ：フォーチュンクッキー(おみくじクッキー)
ムーシューチキン(木須肉)
【参加費】 800円程度(材料費実費)
【対象】 高校生以上の市民25名(中学生以下の方は保護者同伴でお願いします)
【申込み締切り】 11月16日(水)まで
【申込先・問い合わせ先】
地域振興課 ☎0854-40-1014

全国一斉「女性の権利
ホットライン」強化週間

人権センター
☎0854-42-1767
全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間にあわせて電話相談を行います。夫やパートナーからの暴力や、職場におけるセクシュアル・ハラースメント、ストーカー行為をはじめ、日常生活での悩みごとがございましたら、お気軽にお電話ください。相談は無料で、秘密は厳守します。

【相談時間】
午前8時30分～午後7時
ただし、土・日曜日は午前10時～午後5時
【電話番号】
「女性の権利ホットライン」
☎0570-070-810

【相談期間】
11月14日(月)～
11月20日(日)

雲南市男女共同参画センター
☎0854-42-3838
女性相談センター
☎0852-25-8071
出雲児童相談所
☎0853-21-8789
配偶者等からの暴力、性犯罪

県営住宅入居者募集

業務管理課
☎0854-40-1061
島根県住宅供給公社
松江住宅管理事務所
☎0852-22-3400
県営住宅(空き室)の入居者を募集します。家賃などは問い合わせください。
【募集団地】
上郡団地(掛合町)
4戸(3DK)
【応募受付期間】
11月1日(火)～
11月15日(火) 必着

人権センター公開講座
いのちの振り子揺らして ～歌う尼さん・やなせななコンサート～
12月10日(土) 13:30～
加茂文化ホール「ラメール」
歌う尼さん・やなせななさん
入場無料
自らの経験や、東日本大震災への復興支援、そこで見つけた「いのち」の喜び・悲しみ、強さについて心に響く歌声に乗せて伝えていただきます。
【問】 雲南市人権センター ☎0854-42-1767



広告枠

広告枠

「雲南市教育フェスタ2011」

次代を担う子どもや若者が夢や希望をもって未来に向かって前進していける環境づくりと、この子らにとって真に必要な「生きる力」とは何かを語り、それをもって雲南市教育フェスタ2011を「日本を元気にする力」を発信する場として、次の通り開催します。多くの皆様の参加をお願いします。

日時 11月26日(土)～27日(日)
 場所 雲南市加茂文化ホール「ラメール」・かもてらす
 テーマ 「雲南市からの発信！ 日本を元気に！ 新たな力の創造！」

日程及び内容

11月26日(土)

9:00	9:20	9:50	10:00	11:00	11:30	12:00	13:00	14:30	14:40	16:40
受付	開会行事	記念講演 「今被災地の子どもたちは」 ～女川での活動から 講師：今村久美氏 (カタリバ代表)		〈実践発表Ⅰ〉 「夢」発見ウー の實踐 三刀屋中学校	〈実践発表Ⅱ〉 「幸雲南塾in 三瓶」の實踐 教育委員会	昼食休憩	〈公開授業〉 今村夫妻とカタ リバ・授業展開 加茂中3年・カタリバ		〈熟議〉 今！子どもたちに求める力 ～震災後の生きる力～ 参加者全員	
ラメール 大ホール						ラメールふれあいホール				

11月27日(日)

8:30	8:45	9:20	9:25	9:45	9:50	10:50	11:00	11:30	11:40	12:30	13:30	15:30
受付	「上代タノ先生に学ぶ」 コーナー紹介 大東町の女性の集い	男女共同参画センター企画 オープニング ダンスショー わくわくキッズ教室	講演 「笑って学ぶ子育てのコツ」 講師：岩城敏之氏	エンディング ライブ ペーパーストーリー (新感覚紙芝居)	〈実践発表Ⅲ〉 食と農を通じた体験活動 (加藤敏一郎先生の教育理念の継承) 寺領小学校	円卓会議 ＝テーマ＝ 「人がつながる学びと地域」 (明日の雲南市を語る 円卓会議)						
ラメール 大ホール						ラメール ふれあいホール						

主催 雲南市、雲南市教育委員会、(財)自治総合センター
 参加申込・問い合わせ 教育総務課 ☎0854-40-1071

くらしの消費生活窓口

多重債務対策、特別無料相談会のご案内

～返済に困ってもひとりではなやまないで!!～

主催：島根県・島根県弁護士会・島根県司法書士会

とき	ところ	定員
11月13日(日) 9:00～16:00	松江市 島根県消費者センター	12人
12月11日(日) 9:00～16:00	出雲市 パルメイト出雲	12人

弁護士・司法書士が無料で面接相談を行います。(休憩12:00～13:00)

事前予約が必要です。☎0852-32-5916(島根県消費者センター) 受付時間：9:00～17:00(土・祝日を除く)

*当日は司法書士による電話相談も行います！ ☎0120-114-234(島根県司法書士会)

【問】雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123



11月の古紙回収

市民環境生活課

☎0854-40-1033

ゴミを減らし、限りある資源を大切にしましょう。リサイクルにご協力ください。

【回収品目】

古紙(ダンボール・雑誌類・新聞紙・広告チラシ)
 回収品目以外の持ち出しは不法投棄となりますのでご注意ください。

町	持ち出し日	持ち出し場所
大東町	11月20日 第3日曜	大東町体育文化センター、春殖交流センター、駅前公民館、幡屋リサイクルボックス、佐世交流センター、西阿用集会所下倉庫前、阿用交流センター、下久野リサイクルボックス、久野交流センター、海潮交流センター、須賀リサイクルボックス、塩田交流センター
加茂町	11月6日 第1日曜	自治会単位
木次町	11月20日 第3日曜	斐伊体育館東側ゲートボール場隣駐車場、西日登交流センター、温泉交流センター、日登交流センター、雲南市役所職員駐車場
三刀屋町	11月13日 第2日曜	三刀屋総合センター裏、一宮交流センター、飯石交流センター、鍋山交流センター、中野交流センター、根波生活改善センター

鉄の歴史村フォーラム2011

鉄の歴史村 たたら製鉄の実態を探る ～田部家古文書調査からの報告2～

- とき 11月12日(土)13:30～17:20
 - ところ 吉田健康福祉センター 2階
 - 参加費 1,000円
 - 講演
 - ・昭和の田部家家史編纂と田部家300年の歴史 広島大学大学院教授 中山 富広さん
 - ・「金屋子信仰」再考 島根大学法文学部教授 山崎 亮さん
 - ・粟目Ⅰ遺跡・粟目Ⅱ遺跡の発掘調査概要について 島根県埋蔵文化財調査センター 宮本 正保さん
- ※同時開催事業 近代だたら操業も行います。

【問】(財)鉄の歴史村地域振興事業団 ☎0854-74-0311

2011 鉄の歴史村フォトコンテスト

今、記録しておきたい鉄の歴史村の魅力というテーマで作品を募集中です!

- 募集期間 12月27日(火)まで必着
 - 応募規定 吉田町内で撮影された未発表の作品。サイズ A4、四つ切り(ワイド四つ切りも可)
 - 応募点数 一人5点まで
- ※入賞・入選された作品の使用権は主催者に帰属します。

【問】(財)鉄の歴史村地域振興事業団 ☎0854-74-0311

- 品目ごとに紐でくくる
- 一絡みは10kg以内
- 持ち出しは当日のみ

吉田町、掛合町の古紙回収は今までどおりです。

うんなん恋★伝説

参加者募集中!
20～30代
独身の男女

人生は出会いの連続。すべては出会いがあつてこそ。そう、まずは出会うことから始めよう!!

第1章 星にねがいを

～クリスマスはあなたと過ごしたい～

- ◆とき：平成23年11月27日(日)14:00～18:00
- ◆場所：健康の森(雲南市木次町)
- ◆参加費：男性2,000円/女性1,000円
- ◆定員：男女各15人

第2章 Valentine Party

～チョコ争奪戦～

- ◆とき：平成24年2月12日(日)14:00～18:00
- ◆場所：ラメール(雲南市加茂町)
- ◆参加費：男性3,000円/女性2,000円
- ◆定員：男女各20人

お問い合わせ
参加申込先

うんなん婚カツ! 応援団

(市役所地域振興課)

TEL:0854-40-1013
FAX:0854-40-1019

子育て支援センター
などのスケジュール

だいたう	教室・相談 あおぞら	子育て相談 11日(金)、25日(金) 10:00~16:00 赤ちゃん教室 8日(火) 9:30~11:30 子育て教室 10日(木) 9:30~11:30 育児相談 大東健康福祉Cおおぎ 17日(木) 9:30~11:00
	子育て サロン	木馬 おおぎ 毎週火・木曜日 9:30~15:30 ぼっぼ 佐世交流C 2日(水) 9:30~11:30 ぼかぼかひろば 幡屋交流C 7日(月) 9:30~11:30 うしお 海潮交流C 11日(金) 9:30~11:30
	地域サークル 9:30~11:30	佐世交流C 17日(木)、大東健康福祉C 18日(金) 幡屋交流C 21日(月)
かも	保育園 開放日	大保 毎週水曜日(給食試食の予約:前日16:00まで) かもめ 毎週金曜日(給食試食の予約:前日16:00まで) あおぞら 毎日(給食試食は金曜日のみ、試食の予約:当日9:00まで)
	子育てサロン 10:00~	つくしっ子広場 かも 毎週水曜日 2日、9日、16日(みんなでランチ)、30日(誕生会) ぶちつくしっ子広場 かもてらす 25日(金)(親子でクッキング)
	支援センター	りんごちゃん広場&育児相談 21日(月) 10:00~
きすき	支援センター きすき	保育所の庭で遊ぼう! 8日(火) 10:00~ 誕生会(誕生児は要予約) 10日(木) 10:30~ ミュージックケア(2歳未満、要予約) 11日(金) 10:15~ 子育てママの音楽遊び(2歳以上、要予約) 22日(火) 10:00~ おはなし会 24日(木) 10:30~
	出前保育	西日登交流C 9日(水) 10:00~12:00
	教室・相談 きすき	リフレッシュ講座(要予約) 2日(水) 9:30~ 臨床心理士相談日(要予約) 4日(金) 9:30~ ベビーマッサージ(10ヵ月未満要予約) 15日(火) 10:00~ 妊婦サロン 15日(火) 10:00~ 育児相談 18日(金) 9:30~11:00受付 赤ちゃんピクニックとママのための軽運動(8ヵ月未満要予約) 25日(金) 10:00~
みとや	社協子育てサロン 10:00~12:00	にこにこクラブ(参加費 一家族100円) 日登交流C 16日(水) 高齢者コミュニティC 30日(水)
	支援センター みとや	赤ちゃん広場(ベビーマッサージ) 4日(金) 要:予約 対象:10ヵ月児まで 赤ちゃん広場(ふれあい遊び) 18日(金) あそぼう広場(新聞紙であそぼう) 25日(金)
	保育園開放日	よした 4日(金)、たい 2日(水)、16日(水)
よしだ	あいあいクラブ	紙しばい 16日(水)
	出前保育	吉田地区 吉田健康福祉C 18日(金) 10:00~12:00
	保育園開放日	昼食試食会 要予約・締切 9日(水) 16日(水) 11:00~12:00 保育所開放日 16日(水)・30日(水) 9:00~11:00
かけや	支援センター 分室:遊合体育館	子育て相談日 分室 9日(水) 9:30~11:00 遠足(ゴーゴーサロン共催)要予約・締切 18日(火) 11日(金) 9:00~14:30 かけっこまつり 好老C 19日(土) 9:00~11:00
	出前保育	入間地区 入間交流C 10日(木) 9:30~11:30 波多地区 波多交流C 22日(火) 9:30~11:30
	大保:大東保育園 ☎43-6132 かもめ:かもめ保育園 ☎43-3010 あおぞら:あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 おおぎ:地域福祉センターおおぎ ☎43-5610 かも:加茂子育て支援センター ☎49-6723 かもてらす:かもてらす(社協加茂支所) ☎49-7306 きすき:木次子育て支援センター(斐伊保育所併設) ☎42-2030 社協木次支所:雲南市社会福祉協議会木次支部 ☎42-9080 みとや:三刀屋子育て支援センター ☎45-9500 よした:吉田保育所 ☎74-0330 たい:田井保育所 ☎75-0201 夢の子:かけや夢の子園 ☎62-9900 好老C:好老センター ☎62-0727 Cはセンター、市外局番はいずれも0854 ※内容が変更される場合があります。詳細は、各センターにお問い合わせください。	

図書館だより

大東図書館 ☎0854-43-6131
11月の休館日 毎週金曜日、23日(水)、30日(水)
11月1日(火)~11月13日(日)まで書架整備・配架修正のため臨時休館いたします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

イベント案内
☆こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 10:30~
(わらべうた遊びの会 対象:乳幼児と家族の方)
*7日は臨時休館のためお休みです。

新着の本(抄) ▼赤川次郎「終電へ三〇歩」▼宇江佐真理「心に咲く風」▼新堂冬樹「悪虐」▼津本 陽「戦国業師列伝」▼島中 恵「やなひなり」▼菅田哲也「レイジ」▼諸田玲子「恋かたみ」▼山田太一「空也上人がいた」▼よしもとばなな「ジューズ」▼渡辺淳一「天上紅蓮」▼五木寛之「朝顔は闇の底に咲く」▼日野原重明「たつぷり生きる」▼野依良治「事実と真実の敵なり」▼相田みつを「うばい合えば足らぬわけ合えばあまる」▼安藤優一郎「勝海舟と福沢諭吉」▼王 貞治「野球にとどきめて」▼北島康介「前に進むチカラ」▼野村克也「野村の見立て」

木次図書館 ☎0854-42-1021
11月の休館日 毎週月曜日、3日(木)、6日(日)、23日(水)、30日(水)

イベント案内
☆古本・古雑誌リサイクル市 6日(日) 10:00~(視聴覚室)
☆よみかたりのじかん 毎週木曜日 14:30~(3日を除く)

新着の本(抄) ▼宮本 輝「慈雨の音」▼東野圭吾「マスカレード・ホテル」▼桐野夏生「緑の毒」▼小路幸也「東京公園」▼桂 望実「恋愛検定」▼新堂冬樹「硝子の鳥」▼澤田ふじ子「仇討ちの客」▼渡辺淳一「天上紅蓮」▼玖村まゆみ「完盗オンサイト」▼重松 清「峠うどん物語⑩」▼木内 昇「笑い三年、泣き三月。」▼加藤 廣「神君家康の密書」▼葉室 麟「星火瞬く」▼馳 星周「光あれ」▼橋田壽賀子「簡素が、いちばん!」▼柳田邦男「僕は9歳のときから死と向きあってきた」▼下重暁子「晩年の発見」▼よしもとばなな「すぐそこのたからもの」▼金子兜太「今、日本人に知ってもらいたいこと」▼長谷川楨子「家郷のガラス絵」▼さだまさし「さだのはなし」▼淡路恵子「凜として、ひとり」▼池上 彰「先送りできない日本」▼安齋育郎「これでわかるからだのなかの放射能」▼林 将之「葉っぱで気になる木がわかる」▼菅野公夫「西洋美術クイズ」▼船瀬俊介「節電・エコ生活50の知恵」▼近藤 誠「抗がん剤は効かない」▼天野 彰「『おひとりさま』の家づくり」▼辰巳芳子「辰巳芳子スープの手ほどき・和の部、洋の部」▼南 久美子「パッチワークのかわいいギフト」▼村上もとか「JIN①~③」

加茂図書館 ☎0854-49-8739
11月の休館日 毎週木曜日、4日(金)、23日(水)、30日(水)
今月は、やさしい気持ちになる絵本2冊をご紹介します。

イベント案内
☆おはなしチューリップ たのしい絵本の会 19日(土) 14:00~
『ウインクルさんとかもめ』
エリザベス・ローズ:文 ジェラルド・ローズ:絵
ふしみみさを:訳

港町に住むウインクルさんは、カモメにエサをやるのが好きなやさしい人ですが、仲間の漁師からは、少しばかりにされていました。しかし、カモメのおかげで、ウインクルさんが港町の危機を救うことになるのです。ウインクルさんの、正直でやさしい気持ちにうたれます。

『ことりは ことりは 木でねんね』
韓国のこもりうた
チョン・スニ:作 松谷みよ子:訳

次の本は、韓国大邱地方の子守歌をもとにかかれた絵本です。お母さんは「小鳥や動物もねんねしているから、ほうやもねんねしようね」と歌います。おやすみ前に、ぴったりの絵本です。

11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待は、子どもの生命に危険を及ぼすだけでなく、心にも深い傷を残すことになります。児童虐待は、地域全体で取り組むことで、発生予防や早期発見につながります。あなたの周りに「気になる子ども」はいませんか?「もしかしたら」と感じたら、すぐに、雲南市の相談窓口や、出雲児童相談所などに連絡してください。あなたの一報で救われる子どももいます。



- 虐待防止の5箇条**
- (1)「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告) 通告は義務=権利
 - (2)「しつけのつもり…」は言い訳 子どもの立場で判断
 - (3)ひとりで抱え込まない あなたにできることから即実行
 - (4)親の立場より子どもの立場 子どもの命が最優先
 - (5)虐待はあなたの周りでも起こりうる 特別なことではない

虐待相談(通告)先

出雲児童相談所 ☎0853-21-0007
雲南市健康推進課(虐待担当課) ☎0854-40-1045

子育てに関する相談をうけつけています。

子育ては楽しいことも多いけど、つらく大変、思うようにいかないこともあるものです。不安や悩みをひとりでかかえているとつらさは膨らむばかりです。子どもの発達や発育、食べ物、予防接種、お友達とのトラブルなどなど子育ての不安や疑問のご相談に応じています。

相談先
雲南市健康推進課(母子保健担当課) ☎0854-40-1045
総合センター保健福祉課
大東 ☎0854-43-6142 加茂 ☎0854-49-8612 木次 ☎0854-40-1083
三刀屋 ☎0854-45-9501 吉田 ☎0854-74-0215 掛合 ☎0854-62-0056

しまね子育て応援パスポート **こころ** 協賛店舗を募集しています!

○しまね子育て応援パスポート事業とは・・・
妊婦または18歳までの子どものいる家庭にパスポートをもっていただき、協賛店でパスポートを提示するとさまざまなサービスを受けることができるという事業です。この事業を行うことにより、子育てを温かく応援する地域づくりを進めていきます。

○サービス内容について・・・
各店舗等の特性を活かし、できる範囲内のものサービスをご提供ください。県では、提供サービスに対して補填はできませんが、事業全体のPRを行います。
(サービス例)・店舗等での割引、ポイントアップ、景品のプレゼント・店舗での子育て関連情報の提供
・子ども対象の工場見学や職業体験の実施 など
※対象年齢やサービス実施日の限定もできます。
(例)毎月第3日曜日「しまね家庭の日」に限定、毎週水曜日に限定 など

○協賛店になったら・・・
・島根の子育てを応援している証として、協賛証及びステッカーを発行します。店舗等では、必ずサービス内容の提示をお願いします。
・県のホームページなどにおいて、各店舗等の取り組みやPRなどを紹介します。

○問い合わせ先・申込先 島根県少子化対策推進室 ☎(0852)22-5302 FAX(0852)22-6045
雲南市子育て支援課 ☎(0854)40-1044



この地でオロチの尾を開いて宝剣を得られますが、その宝剣の上にはあやしい雲があったので、「天

⑧ 尾留大明神旧社地

スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治された時、八塩折の酒に酔いつぶれたオロチの頭は草枕山、尾の先端は草枕山の南方約400mの御立敷にあつたといわれています。スサノオノミコトは、

ヤマタノオロチ伝説の舞台・雲南を巡る

「叢雲剣」と名付けてアマテラスオオミカミに献上されました。天叢雲剣は別名「草薙剣」ともいわれ、三種の神器の一つとして熱田神宮（名古屋市）に祀られています。

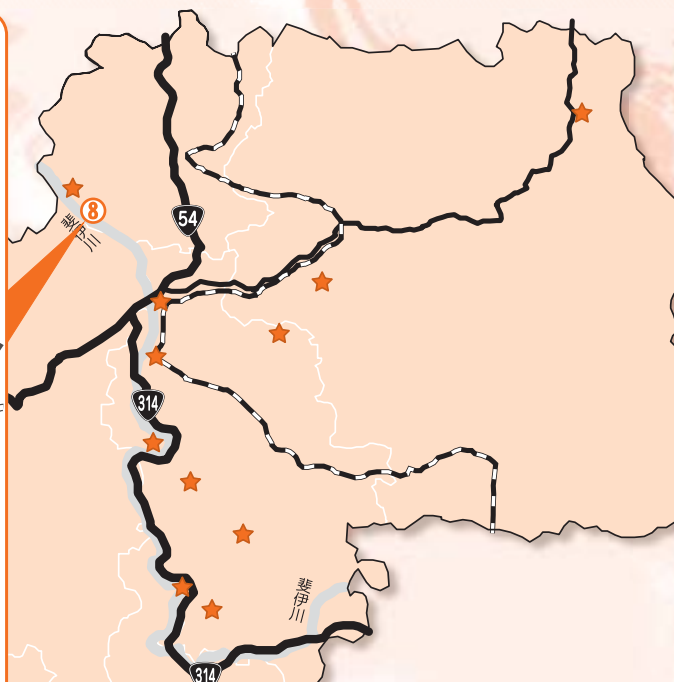
御立敷の地にオロチの尾が留まったことから、中世以降、「尾留大明神」として広く崇敬されてきました。さらに、斐伊川の氾濫で川床が上がり、社地が低くなったので、延享元年（1744年）に大津の丘陵中腹に移転され、明治4年に御代神社と改称されました。さらに、大正元年に日吉神社社地に移転、合祀され、現在の御代神社となっています。

現在、大津の丘陵中腹の「尾留大明神旧社地」には「天叢雲剣発祥之地」の碑が建てられ、神蹟地として残されています。



《アクセス》
 ●自家用車
 松江自動車道 三刀屋木次ICを下りて、国道54号から県道出雲三刀屋線に入り、出雲市方面へ進み、約4km先のT字路（三代橋）を右折。三代橋を渡り、道なりに約1km進み、突当りを左折。約0.8km進み左折し（案内看板あり）、200m進み左折（案内看板あり）すると目的地周辺に到着。所要時間 約10分
 ●市民バス
 加茂南回り線に乗車し、「岡」停留所下車、徒歩5分（約500m）で目的地に到着。

【問い合わせ】商工観光課
 ☎0854-40-1054



（古事記より）
 スサノオは、酔つ払って寝たヤマタノオロチの頭と胴を次々と切り落としました。次に尾を切っていると尾から特別な太刀（のちに草薙の剣と呼ばれる）が出てきました。スサノオは、アマテラスオオミカミに太刀が出たことを話し、差し上げることになりました。（つづく）

11月の検診・教室 など

【問】健康推進課 ☎40-1045

◆育児相談		
三刀屋子育て支援センター	7日(月)	9:30~
掛合子育て支援センター	9日(水)	
地域福祉センターおおぎ	17日(木)	
木次子育て支援センター	18日(金)	
加茂子育て支援センター	21日(月)	
◆離乳食教室		
木次健康福祉センター	15日(火)	9:30~
好老センター	22日(火)	

◆乳幼児健診			
乳児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	2日(水) 13:00~(4カ月児) 13:30~(10カ月児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	24日(木) 13:00~(4カ月児) 13:30~(10カ月児)
幼児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	16日(水) 13:00~(1歳6カ月児) 13:30~(3歳児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	三刀屋健康福祉センター	10日(木) 13:00~(1歳6カ月児) 13:30~(3歳児)

◆断酒会		
田井交流センター	3日(木)	19:00~21:00
加茂健康福祉センター	7日(月)	18:30~20:30
大東交流センター	8日(火)	19:00~21:00
掛合まめなかセンター	16日(水)	
下熊谷交流センター	21日(月)	
三刀屋健康福祉センター	29日(火)	

◆健康体操教室			
健康体操	加茂健康福祉センター	4日(金)	9:30~10:00
		11日(金)	
		18日(金)	
3日体操		7日(月)	13:30~15:00
		21日(月)	

◆胃がん検診		受付時間
木次健康福祉センター	28日(月)	8:30~ 9:30
◆土曜がん検診(子宮頸がん、乳がん)		
勤労青少年ホーム	12日(土)	9:00~12:00
加茂健康福祉センター		13:30~16:00

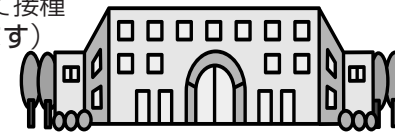
◆その他相談		
こころの健康&もの忘れ相談(予約制)	9日(水)	13:00~14:30
【問】雲南保健所 ☎42-9642		
雲南サロン「陽だまり」	10日(木)	10:00~15:00
【問】雲南保健所 ☎42-9638	24日(木)	
思春期・青年期こころの相談	16日(水)	9:30~11:00
【問】雲南保健所 ☎42-9642		
交通事故巡回相談	出雲市役所	17日(木)
【問】交通事故相談所 ☎0852-22-5102		9:00~15:00
アルコールによる困りごと相談(予約制)	21日(月)	13:00~14:30
【問】雲南保健所 ☎42-9642		
巡回児童相談(予約制)	大東健康福祉センター	30日(水)
【問】出雲児童相談所 ☎0853-21-0007		10:00~16:00

※内容、場所、日時の順に記載。
 市外局番は記載のないものはいずれも0854。

高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

高齢者の季節性インフルエンザの発病や重症化防止のために、インフルエンザ定期予防接種を実施します。一昨年流行した新型インフルエンザ(A/H1N1)は、平成23年4月1日から通常の季節性インフルエンザと同じ扱いに変わりましたが、今年度のインフルエンザワクチンにも含まれています。

- 【実施期間】平成23年10月1日から平成24年1月31日まで
 - 【接種対象者】雲南市に住民登録があり、次のいずれかの要件を満たしている方
 - ◇満65歳以上の方
 - ◇満60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器などの機能に極度に障害のある方（厚生労働省令の定めによる）
 - 【接種回数】1回
 - 【接種方法】雲南市と契約している医療機関にて接種
 - 【自己負担金】2,000円（※生活保護を受けている方は、無料で接種できます）
 - 【持参するもの】健康保険証、自己負担金
- ※インフルエンザ予防接種問診票は委託医療機関にあります。



高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部助成

肺炎球菌ワクチンは、肺炎の中でも最も多い原因となる肺炎球菌によって起こる病気を防ぐワクチンです。雲南市では満70歳の方を対象に、高齢者肺炎球菌ワクチン（23価肺炎球菌ワクチン）予防接種費用の一部助成制度を今年度から実施します。

- 【助成対象者】接種時に雲南市に住民登録のある方で70歳の誕生日を迎えられた方
 - 【助成回数と金額】一人1回のみ、3,000円
 - 【助成方法】ワクチン接種費用に要した費用のうち、3,000円を償還払いにより助成します。平成23年4月1日以降に接種を実施したもので接種医療機関は、市内、市外は問いません。※接種後、雲南市健康推進課へ申請してください。
- <持参するもの>領収書、振込先のわかる通帳等、印鑑



本城 稔さんから学ぶ
結婚相談がうまくいく秘訣
講座&ワークショップ

11月5日(土) 13:30~受付

佐世だんだん工房 (大東町佐世地内)

内容 講演 (13:30~15:10)
講師: 本城 稔さん
グループワーク (15:20~17:30)
交流会 (17:30~20:00)

対象者 結婚相談員、婚カツ実践者、その他関心のある方

【問】 地域振興課 ☎0854-40-1013

第29回 きすきがっしょ祭り

11月6日(日) 10:00~15:00

雲南市勤労青少年ホーム前駐車場

内容 ステージイベント、テント村、文化作品展、大抽選会など

【問】 木次総合センター ☎0854-40-1080

文化講演会

大丈夫だよ がんばろう!

11月12日(土) 開場13:00、開演14:00~

チェリヴァホール

講師 山田邦子さん

入場料は無料ですが、整理券が必要です。

(先着450人)

小中学生の『税の作品展』をチェリヴァホール1階ロビーに展示しています。

【問】 社団法人 雲南法人会 ☎0854-45-0212

人権センター

第4回 公開講座

11月11日(金) 19:00~21:00

一宮交流センター (三刀屋町給下)

演題 いつも心に笑顔を
~性同一性障害を克服する私の挑戦~

講師 紫の風GIDサポートセンター代表 上田地優さん

【問】 人権センター ☎0854-42-1767

ひきこもりや不登校
についての研修会

11月29日(火) ①10:00~12:00

②14:00~16:00

チェリヴァホール

内容 ひきこもりや不登校の子どもを支える家族などを対象とした研修会

講師 開善塾所長 (埼玉県狭山市) 金澤純三さん

申し込み 11月18日までに申込みください。

(申込みの際にご希望の時間をお知らせください)

【問】 学校教育課 ☎0854-40-1072

加茂町新地域イベント

11月13日(日) 10:00~14:00

加茂町連坦地内

内容 おにぎり選手権、ステージイベント、特産品市、まめなカー市など

【問】 加茂町新地域イベント実行委員会

☎0854-49-8601

●市報うんなん No.84 2011年 11月発行

発行・編集/雲南市役所 政策企画部 情報政策課

〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019

☐unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

👤 人口・42,619人 (-27)

♂ 男性・20,472人 (-6)

♀ 女性・22,147人 (-21)

🏠 世帯数・13,669世帯 (10)

平成23年10月1日現在 (先月比)